

未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成

教育情報誌  
うらやすスタイル  
浦安市教育委員会

# URAYASU STYLE

Vol. 39  
2019.12



## 確かな学力の形成と 豊かな心の育成

「豊かなかわりを通して、他者と共によりよく生きようとする児童生徒の育成」を研究主題として、日の出小学校と日の出中学校では、道徳科の研究発表会を行いました。

この秋は、ラグビーワールドカップでの日本代表の大活躍に、日本中が沸きあがりましたが、一方で度重なる台風直撃による影響等で大きな被害を受けた人々や地域もありました。

本市でも、学校や社会教育施設に被害が生じたり、スポーツや文化イベントが中止に追い込まれたりした影響はあったものの、各学校の教育活動や生涯学習、スポーツ活動等では充実した秋になりました。

今回は浦安の子どもたちの充実した学校教育活動の紹介です。本市の児童生徒の学習・学力状況ですが、国及び市独自の調査のほとんどで全国及び千葉県の前年正答率を超えてい

ます。昨年度は理科の調査もありましたが、同様な結果でした。この結果は、家庭による教育への関心の高さや取り組みはもちろんです。日々の学校の実践によりその成果が表れているものと分析しています。各学校では、学力の向上を目指して、多様な学習形態や機器を活用したり、情操の豊かさを求め、公民館や地域の方々との交流を図ったりする等多様な学びを創造するために、授業研究会も公開しています。学校教育と社会教育の融合を図る取り組みをさらに充実させたいと考えています。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木 忠吉



# 確かな学力の形成と豊かな心の育成

自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する子どもを育む

## 学ぶ意欲の育成と確かな学力の形成

考え、表現する力を高めるために、言語活動の充実を図る

言語活動とは、記録する、説明する、紹介する、討論するなど、「話す」「聞く」「書く」「読む」といった言語を使った活動のことです。小・中学校では、確かな学力の形成や豊かな心を育む上で必要な言語に関する力を高めるために、国語科を中心に、各教科で言語活動の充実を図る授業を行っています。

自分の考えた作戦をかき表し、話し合いによってチームの作戦を決める(東小)



自分のお気に入りの本について、登場人物や好きな場面を友達に紹介する(明海小)

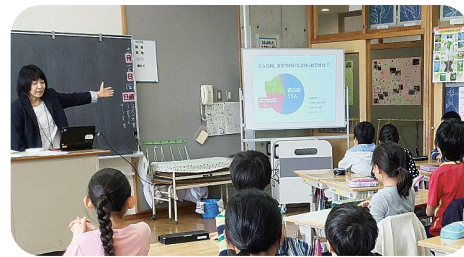


自分の考えた作戦をかき表し、話し合いによってチームの作戦を決める(東小)

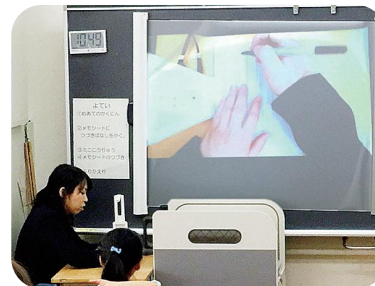


わかりやすい授業づくりのために、ICTカートやプロジェクターを活用する

今年度、小・中学校の全教室にプロジェクターを整備しました。プロジェクターを使うことにより、クラスみんなで課題を共有することが容易になりました。また、先生が手順等を説明する場面でも、子どもたちは、スクリーンに大きく映し出された先生の手元を見て学習することができます。



グラフをみんなで見て、気が付いたことを発表する(明海南小)



スクリーンに映し出された先生の手元を見ながら作業の仕方を学ぶ(明海南小)

子どもたち一人一人にきめ細やかな学習指導を行うために、少人数教育推進教員との連携を図る

この単元では、6名の生徒の習熟度に応じた課題を設定し、きめ細やかな指導を行っている



小・中学校には、少人数教育推進教員という先生がいます。学校の実態に合わせて、習熟度別による少人数指導等を行い、子どもたちを少人数できめ細かく指導し、わかる・できる授業を展開しています。

入船中学校では、数学の授業の時に、第2学年の2クラスを学習する単元に応じて、希望による習熟度別の3クラスに分けて、少人数による授業を行っています。

子どもたちの健やかな成長のために公民館で学ぶ

当代島公民館で、子育て応援講座「未来をつくる子ども達」が開催されました。「情報化の中で子どもたち」をテーマにした講座では、「情報化の中で子どもたちが生きていくために必要な力とは何か」について、参加者同士でグループをつくり、話し合いました。「遊ぶ」「学ぶ」「考える」「笑う」「甘える」「頼る」など様々な意見が出ました。「なるほど」「それもありますね」などの感想がありました。



講師の先生から、子どもたちを取り巻く情報化の現状について話を聞く

## 多様な教育的ニーズに応じた支援の充実

交流及び共同学習の充実

学校では、子どもたちの実態や各学校の状況に応じ、特別支援学級と通常の学級の子どもたちが共に学ぶ機会が得られるよう、「交流及び共同学習」を計画的に進めています。

「交流及び共同学習」では、共通の目的を持ち、互いに学び合う経験を大切にしています。こうした中で、多様性を理解し、相手を思いやる気持ちを育て、自分から考えて行動する力がつくように、各学校で取り組んでいます。

ここでは、市内の小・中学校で取り組まれている特別支援学級と通常の学級との交流や特別支援学校と市内の学校で行われた居住地校交流を紹介します。

居住地校交流とは、特別支援学校の児童生徒が、自分の居住している地域の小学校・中学校に行き、居住地域の児童生徒と一緒に学習活動等を行うことです。



交流学級での給食交流の様子(日の出中)



特別支援学級と通常の学級との魚つりイベント(北部小)

学習の成果を発表する「第34回はっぴい発表会」

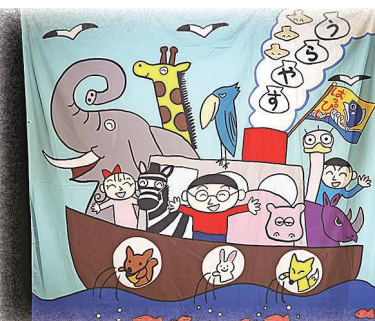
11月9日(土)に、浦安市の特別支援学級の子どもたちによる「はっぴい発表会」が文化会館大ホールで行われました。今年度は、東小学校の「はるかぜ学級」が加わり、小学校12校、中学校9校、約180名の子どもたちが出演しました。各学校の先生方をはじめ多くの方々が登場し、声援を送っていました。

歌やダンス・楽器の演奏や劇など、子どもたちは、日頃積み重ねてきた学習の成果を、自信を持って発表しました。子どもたちの輝いている姿は、会場中を「はっぴい」な気持ち一杯にしました。



はっぴい発表会「かがやきオリンピック2019」居住地校交流の友達と一緒に!(南小)

文化会館のステージ上に掲げられた「はっぴい発表会」のメインフラッグ



入船中、明海中、高洲中、堀江中、富岡中「舞え!響け!参上新湾岸組」

浦安中、日の出中、見明川中、美浜中「浦安魂ここにあり!!」

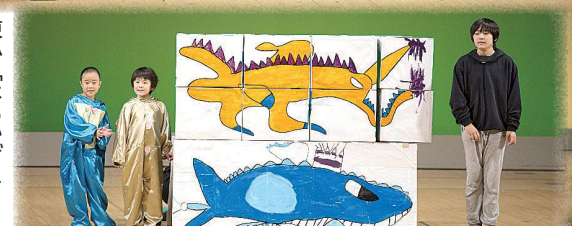


参観者からの感想

始まる前は、少し緊張していた子どもたちがステージの上ではカー杯演技をしていて輝いていました。

たくさんの観客の前で、のびのびと発表する子どもたちの様子に、とても感動しました。

東小「はるかぜストーリー」みんながともだちになった日



明海小「おまいうまそうだな」



自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う子どもを育む

豊かな心の育成

道徳教育の充実を目指して

小学校は平成30年度から、中学校は今年度から道徳が「特別の教科 道徳（道徳科）」となりました。教科書が導入され、子どもたちを励まし伸ばすための評価も始まりました。

日の出小学校、日の出中学校では、「豊かなかかわりを通して、他者と共によりよく生きようとする児童生徒の育成」を研究主題として、道徳科の研究発表会を行いました。市内外から多くの先生方が道徳科の授業を参観し、「考え、議論する道徳」の授業のあり方について協議しました。

“ぼくのせいじゃない”  
（道徳教育映像教材 千葉県教育委員会）  
日の出小学校1年生の道徳科の授業

映像教材「ぼくのせいじゃない」は、主人公の正太が、友達に腕を引っ張られたことが原因で、女の子の描いた絵を汚してしまいます。「ぼくのせいじゃない」と言って教室から出ていった正太の気持ちを、「心情メーター」を使い、もやもやした気持ち（青色）とすっきりした気持ち（ピンク色）を色で表します。「正太はなぜ謝ることにしたのでしょうか」という先生の問いに子どもたちは「大切な友達だから」と、ピンク色のハートを持って答えました。



3人のグループで意見を交換し合う



“あなたの命は誰のもの”（『明日への扉3年』）  
日の出中学校3年生の道徳科の授業

「このカードを知っていますか？」臓器提供意思表示カードについて、生徒に問いかけるところから授業が始まりました。臓器提供の意思決定について様々な立場の意見があることを知り、グループや学級全体での話し合いを通して、自他の生命の尊さについて考えることがねらいです。「あなたの家族の臓器提供についてどう考えますか」という先生の問いに「自分ではないから抵抗がある」「この授業中には決められない。これから話し合ってみよう」と、生徒は自分の意見を発言したり、友達の考えに耳を傾けたりしながら、真剣に考えていました。



幼稚園、こども園で育む“豊かな心”

幼児は、友達との好きな遊びや、様々な人たちとのかわりの中で、喜びや葛藤など、多様な感情体験をします。相手に思いやりの気持ちをもったり、自分の気持ちを調整したりしながら、友達と心地よく生活する力を付け、豊かな心を育てています。

情操を豊かにする教育の推進

本に親しむ機会を設け、情操を豊かに育む

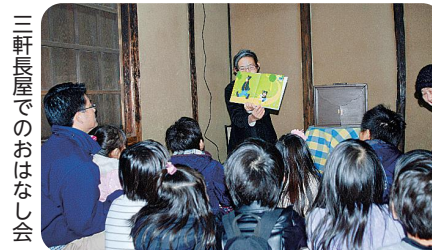
●えほんのじかん

公民館にある図書館の分館では、「えほんのじかん」として子どもたちが本に親しめる機会を設けています。読み聞かせやわらべうたなど毎週木曜日の15:30から各分館で行っています。イベントの時には、特別な何かが登場するかもしれません。



●おはなし会

郷土博物館では、毎週日曜日、浦安おはなしの会による「おはなし会」を開催しています。千葉県文化財に指定されている三軒長屋の中で紙芝居を読んでもらうと、昔の子どもにタイムスリップした気分になります。



●読み聞かせ

見明川小学校では、1～3年生を対象に毎週、朝の読み聞かせを行っています。スタート当初から蓄積した絵本リストを参考に、その学年に適した本を選書しているそうです。読み聞かせの日には、子どもたちは、座って聞く姿勢を整えて、ボランティアの方が来るのを待っています。



文化・芸術に触れる機会を設け、情操を豊かに育む

●子ども作品展

幼稚園、こども園、保育園、小学校、中学校の作品、約1500点を展示した子ども作品展を、11月23日～25日に文化会館と市役所1階の市民ホールで開催しました。

延べ7,441名が来場し、作品を鑑賞しました。「それぞれが思い思いの工夫を凝らしてどの作品もとても素晴らしかった」という感想がありました。来館した園児は、小学生の作品を見て「大きくなったらばくも作りたい」と言っていました。



●公民館での発表

公民館では、学区の小・中学校の吹奏楽部の発表の機会を設けています。中央公民館の文化祭では、浦安小学校と浦安中学校の吹奏楽部が演奏し、文化祭を大いに盛り上げました。



「未来に向かって夢を持ち、豊かに生きる浦安っ子の育成」を基本理念に掲げ、確かな学力、豊かな心、健やかな体、豊かなかかわり、郷土愛の5つを目指す子ども像とした改訂「浦安市教育ビジョン」後期基本計画は、今年度が計画期間の最終年度となります。計画を振り返り、成果と今後の取り組みについて整理し、それを受けて、浦安市が目指すこれからの教育の基本理念と基本目標を定めた「浦安市教育振興基本計画」を次年度に向けて策定しています。



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。

うらやすはやし ぼぞんかい  
浦安囃子保存会



浦安囃子保存会の方にインタビューしてみました。

浦安小のお囃子部

内田 浦安小のお囃子部にかかわるようになってまだ数年ですが、子どもたちの上達は早いと感じます。来るたびにやれることが増えていっています。1回目、2回目のときは、笛の音が出ま



たくさんの“やりがい”

山本 この間、買い物に行ったときに、中学生に「先生」と声をかけられました。昨年、卒業したお囃子部の子でした。教えた子から声をかけてもらえるのはうれしいですね。



内田 中町の子どもたちの中には、神輿を触ったことも見たこともない子や太鼓を触ったことがないという子もいます。初めて太鼓をたたかせると子どもたちはとても喜びます。「太鼓はこういう風に響くんだ」「鐘の音はすごいな」などと、体験して喜ぶ顔を見るのがやりがいですね。

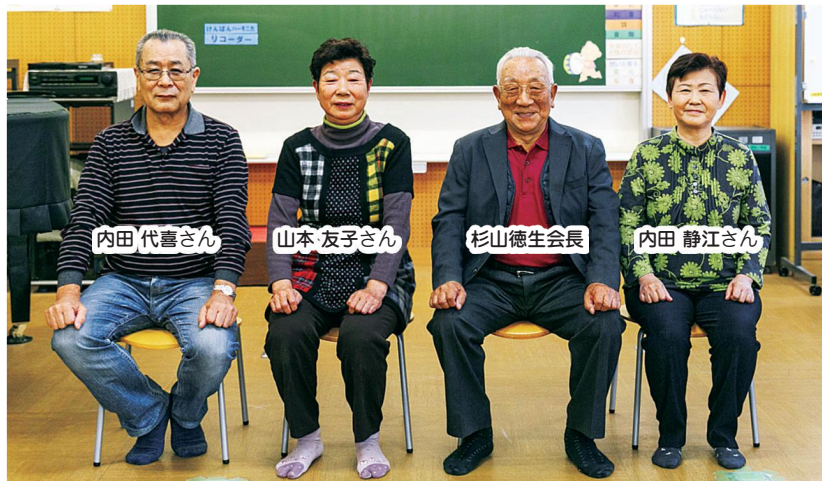


取り組みへの思い

杉山 伝統芸能を残していけないといけないという気持ちがあります。子どもたちを教えて、一人でも、あの時やっただからやってみようという人がいれば、この会は継続していきます。



笛、太鼓、鐘というのは日本の重要な文化の一つだと考えます。「太鼓や笛はこういう音が出る」というのを体験できるのは、日本人として幸せなことではないかと思います。だから、私たちが率先して行うようにしています。



内田 代喜さん

山本 友子さん

杉山 徳生会長

内田 静江さん



取り組み

浦安小お囃子部

浦安小学校には、平成13年度から続くお囃子部があります。4・5・6年生が月1回、放課後に活動しています。浦安小学校で行われる「ふれあい祭り」や、市内のお祭り、博物館のイベントなどで練習した成果を発表しています。



お囃子体験活動

浦安囃子保存会は、市内の小学校の中学年を対象に、子どもたちに太鼓をたたき体験をさせたり、演奏を聴かせたりする活動を行っています。





# 調査から見える 浦安っ子



「論語」について調べ、自分の体験に即した表現に書き換えたことを友達に発表する（入船中）

## 全国学力・学習状況調査（小学校6年生・中学校3年生）4月18日実施

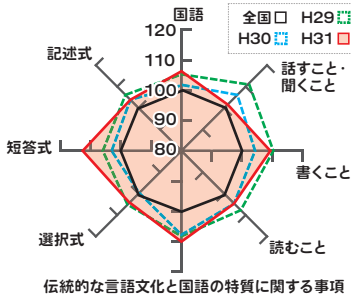
	小学校6年生 平均正答率 (%)		
	浦安市	千葉県(公立)	全国(公立)
国語	68	63	63.8
算数	72	65	66.6

	中学校3年生 平均正答率 (%)		
	浦安市	千葉県(公立)	全国(公立)
国語	77	72	72.8
数学	63	57	59.8
英語	60	55	56.0

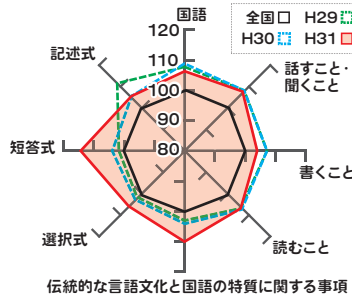
※文部科学省の発表に基づき、全国平均正答率は小数第1位まで、県・市の平均正答率は小数点以下を四捨五入した結果で表しています。  
なお、中学校英語については、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の調査結果です

正答率をみると、千葉県、全国をすべての教科で上回っています。ここでは一例として、国語科、算数・数学科の結果の一部を紹介します。調査結果は、各学校でも分析し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に積極的に活用しています。

### 小学校・国語科



### 中学校・国語科

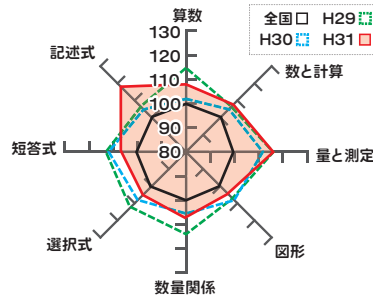


国語科においては、小学校は「話すこと・聞くこと」、中学校では「記述式」に課題が見られます。

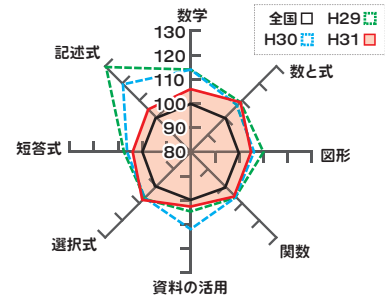
知りたいことや聞きたいことを具体化させてから調べたりインタビューしたりする活動や、要点を押さえ、根拠や自分の考えを明確にするなど条件を踏まえて「書く」活動を継続的に行うことが大切です。

算数科では小学校は「図形」、中学校では「記述式」に課題が見られます。  
色板などの具体物を操作しながら図形についての見方や感覚を豊かにすることや、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いて、自分の考えとの相違点や共通点を見つけたりすることが大切です。

### 小学校・算数科



### 中学校・数学科



※グラフは、全国の前答率を100とした時の浦安市の前答率の割合を表しています

「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」肯定的な回答をした児童生徒  
全国学力・学習状況調査 質問紙調査より（小学校6年生・中学校3年生）

	浦安市	全国(公立)	全国値と比較
小学校	49.8	50.1	-0.3ポイント
中学校	42.4	46.4	-4ポイント

全国値と比較すると、やや低い傾向にあります。「塾などの習い事もあり、子どもたちは忙しい」ということが要因の一つにあるのかもしれませんが。

学校での出来事や様子についてお子様と話をしてみたいかがでしょうか。保護者の皆さまの働きかけが、子どもたちの「生きる力」を育む大きな原動力になります。



開館に向けて準備中



説明を聞きながら、建設予定地を歩いて回る

子どもたちが、確かな学力を身につけ、豊かな心を育めるよう、子ども図書館の整備について検討を進めています。

どのような子ども図書館が良いのか検討にあたり、10～12月に児童・生徒を中心とした市民の意見を直接聴く場としてワークショップを開催し、設計に子どもたちの意見が反映できるよう取り組んでいます。子どもたちからは、光や緑のある空間、くつろげるスペース、飲食ができるスペースなどを望む様々な声が挙がっていました。



意見を出し、話し合う

グループごとに発表する

千葉県児童生徒・教職員  
科学工夫作品展

で

千葉県知事賞を受賞!



加藤美音子先生

浦安市立見明川小学校の加藤美音子先生（理科教育推進教員）が作成した自作教具が、千葉県知事賞を受賞しました。この教具は未知の水溶液が何であるかを判定できるもので、そのアイデアが高く評価されたものです。加藤先生おめでとうございます。

受賞作品

「この水溶液は何だろう？」

- ①カードを重ねる。
- ②調べた性質の該当部分の穴に棒を刺す。（右下写真では酸性の穴にさしている）
- ③その性質に該当しないカードは下に落ちる。
- ④いくつかの性質で②～③を行い、残ったカードが正解の水溶液になる。



▶水溶液の実験の授業

ひとりで  
悩まないで!

相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のこと  
お気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談	0歳～就学前児とその保護者	月～金曜日 9:00～16:00	①子育て相談室（集合事務所3階） ☎306-3715 ②子育て相談窓口（市役所2階） ※面談のみ
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	園児・小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育研究センター まなびサポート （富岡小学校内）☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課（市役所7階） ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	適応指導教室 猫実教室☎351-1151 入船教室☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 *メール相談可 相談専用 ☎0120-211-380
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00	青少年センター（市役所7階） 相談専用☎351-1152
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課（市役所7階） ☎712-6792

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談（友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど）に応じています。